

 医学統計学研究センター
平成 27 年度 第 2 回 セミナー

ネットワーク・メタ・アナリシス入門

— WinBUGS、STATA を利用した解析事例の紹介 —

Introduction to Network Meta-analysis
Synthesis of direct and indirect source of evidence

講 師： 丹後俊郎（医学統計学研究センター）

日 時： 平成 27 年 10 月 9 日（金） PM1：15 ～ PM5：00

場 所： 汐留イタリア街東京茶業会館 8 F 東茶協ホール

参考書： 丹後俊郎著「メタ・アナリシス入門」朝倉書店、2002.
※当日、参考書の購入を希望される方は事前登録が必要です。4,300 円（税込）

対 象： 臨床医学、公衆衛生学、疫学などの研究に従事している大学院生、研究者、実務家、
臨床開発に従事している製薬企業の統計担当者、その他、本セミナーに興味のある者
で、メタ・アナリシスの基礎知識をある程度有している者

参加費： 参加申し込み区分（税込）：
A：アカデミック 1 万 2 千円（大学・病院・研究機関所属の方）
B：ノン・アカデミック 2 万 4 千円

定 員： 50 名（定員に達しだい受付締切）

セミナーの内容：

従来のメタ・アナリシスでは、2 種類の治療法を比較するのが主流であったが、最近では、3 種類以上の治療法を同時に比較するメタ・アナリシスが増えている。これらは、複数の治療法のメタ・アナリシス（multiple treatment meta-analysis, mixed treatment comparison）、あるいは、ネットワーク・メタ・アナリシス（network meta-analysis）と呼ばれている。このメタ・アナリシスでは、過去に直接に比較試験を実施していない治療法の比較（間接比較、indirect comparison）も可能となるが、実際に比較試験を実施した直接比較の結果（direct evidence）と間接比較の結果（indirect evidence）の不一致（inconsistency）の可能性が問題となる。

本セミナーでは、「不一致」を表現するモデル、「試験間の異質性（heterogeneity）」を表現する分散共分散構造のモデル、などに焦点を当てた解説を行うとともに、実際の事例の解析を Frequentist methods（STATA を利用）と Bayesian methods（WinBUGS 利用）の二種類のアプローチで紹介する。なお、本セミナーの内容は、2011 年に国立保健医療科学院生物統計分野の特別講義に招聘した Dr. Ian White（MRC Biostatistics Unit, Institute of Public Health, UK.）との当時の議論と最近の進展に基づいて構成したものである。

 **エレガントな汐留イタリア街で行われる
最先端のセミナーに参加しませんか？** 
Coffee Break では素敵な音楽と Coffee & Sweets が楽しめます

アクセス：



**東京茶業会館 8 F
東茶協ホール**
港区東新橋 2-8-5
(汐留イタリア街)

JR「浜松町」駅「新橋」駅
地下鉄大江戸線・ゆりかもめ
「汐留」駅、地下鉄三田線
「御成門」駅より 徒歩7分
地下鉄浅草線・大江戸線
「大門」駅より 徒歩8分

セミナー参加申込方法：

参加希望の方は、配布資料の準備もございますので、**10/1** (Thu) までに、できる限り、
事前登録をお願い致します。

参加申し込みは  e-mail にて承ります。参加費は当日お支払い下さい。
※領収書と参加証明書お渡し致します

宛先： secretary@medstat.jp

件名： 第2回セミナー参加申込

本文： 1. ご氏名 2. ご所属 3. 参加申し込み区分
4. テキスト購入希望の有無

※セミナーのお申し込みをいただいてからお申込者様のご都合でキャンセルされる場合、
キャンセル料を申し受けますので、ご注意ください。セミナー開催の

8日前（開催当日を含まず）まで： 不要
7日前 - 前々日のキャンセル： 参加費の半分
前日 - 当日のキャンセル： 全額

